

# 子どもから大人まで楽しめる 身近なオアシス～公園～

## いながわ 特派員報告



木下 美由紀

高橋 祐子

公園はずっと以前から愛されてきましたが、特に近年の「ウォーキングブーム」や「近場でレジャーブーム」により、その威力を発揮しつつあります。  
今回は、知れば公園がもっといとおしくなる「公園豆知識」をお届けします。



向山公園(つつじが丘)

長いローラーすべり台が子ども達に大人気で「みんなで一緒にすべれるから、おもしろい」と元気いっぱい、次から次へとすべっていました。

駐車場もあり、野球やサッカーができる多目的広場もあります。

### <町内の公園紹介>

町内には、大小あわせて48ヵ所もの公園があります。今回は、特徴ある4つの公園を紹介します。

※公園の場所などは、町ホームページでも紹介しています。  
▶問合せ 都市整備課(☎766-8704)



大島であい公園

大島小学校グラウンド横にあり、緑に囲まれた親水公園で、カニ・カエル・メダカなどの生物も生息しています。

大阪から遊びに来た樋口さん家族は「年に2～3回は遊びに来ます。ここは駐車場もあって、小さな子どもも水に入れるので大好きな公園です」と話していました。



伏見台南公園



松尾台公園

どちらの公園も、地域の住民と一緒に作りあげた公園です。みんなが意見を出し合ってきた公園だけあって、子ども達に大人気です。

平成15年の開園以来、地域の人々がボランティアで花壇の世話をしています(駐車場はありません)。

町の公園は、都市整備課が、さまざまな管理や対応を行っています。  
定期的な剪定作業の手配はその一例です。美観に加え、見通しがよく安全な面でも効果的です。また、昨年度には、徹底した調査に基づき危険遊具をすべて撤去したので

このように維持管理されています

### ～公園に行きましょう～

いつも行く公園以外にも積極的に出かけるといいですよ。違った魅力が味わえて新鮮ですし、お気に入りの公園が増えたりして楽しいです。

さらに、今の季節なら、自然を活かした水遊び場を持つふるさと館や大島であい公園などの親水公園もお勧めです。夏空の下での水遊び。木陰で聞かせみしぐれ。公園での夏を堪能しましょう。



都市整備課公園担当

### ～ルールを守ろう～



誰でも気軽に利用できるという良い面の裏側で、ごみをそのまま放置する、リードなしで犬を散歩させる、備品を故意に壊すなど、心ない使い方の事実も少なくありません。

公園には必ず守ってほしい次の基本ルールがあります。

- ごみ、吸殻、犬のふんは持ち帰りましょう
- 遊具、備品、樹木を大切にしましょう
- 犬はリードをつけましょう
- 火気(直火) 厳禁です

難しくありませんね。あとは、公共の場にふさわしい節度を持つと同時に、自宅の庭と同じ愛情を抱くことで、公園をこれからも素敵な場にしていきましょう。

### 公園を安全にそして美しく

町内の公園の管理は、民間業者に委託されています。

6月28日、暑い中、大原公園で黙々と低木を刈り込む作業員の皆さんにお話を聞くと「子ども達が安心して遊べるように、子どもの頭が見える高さに刈り込んだり、雨の日に道路脇を歩く人の足を濡らさないように縁石より10cm内側まで刈っています。そして、春にはまたサツキの花が一面を覆い、歩いている人の目を楽しませたいです」と教えてくれました。

また、子ども達が「公園がきれいになってる」と喜んでいて姿を見たときは、本当に嬉しいとも話していました。



より安全になりました。ほかにも、遊具や備品の破損などの連絡があればすぐに駆けつけて対応を考えたり、すべての公園を月に1度、巡回して点検したりと、常にみんなが安心して快適に利用できる公園を目指して励んでいます。

さらに、「地域のみんなが公園や緑地をきれいに」という趣旨の「アドプトプログラム」があります。このように、公園は多くの人たちの手で大切にされています。

### 後編 記集



子どもと一緒に公園に行っていた頃は、周りをゆっくり見ることが多かったのですが、今では春夏秋冬の景色を楽しめるようになりました。そこには、公園を美しく維持管理してくれている人がいて、利用者のマナー向上が不可欠であることを改めて感じました。

いながわ特派員